



校長室だより 2号

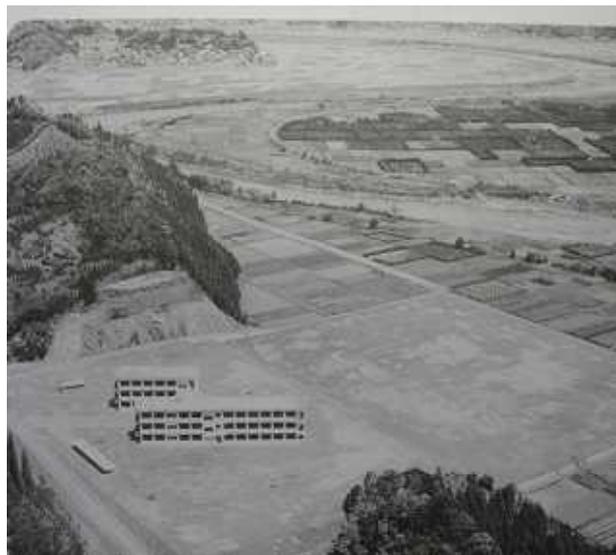
中島 悟

【キャッチフレーズ】

未来に残そう 伝え築いた 振徳商業
目指せ 三種目 日本一 !

【本日の行事】 始業式 生徒数 113名 (男51、女62)
経営情報科34名(男19、女15)、商業科79名(男32、女47)

- 1 学校名の決定まで(新聞記事より) 30周年記念誌より抜粋
- 2 「開校当時の思い出」初代校長 筒井憲二 10周年記念誌より抜粋
- 3 「さらによき伝統を」生徒会長 山口正昭 10周年記念誌より抜粋



開校前年

新聞記事 1969年(昭和44年)

第1・2棟の校舎、自転車置き場完成

『開校前に名称で苦労』 一般公募の声も 日南の新設県立商高

日南市東郷山下に来春開校する県立日南商業高校は、近くの既存の私立日南商業高校(生徒数九百人)[注:現日南学園]と名称が同じでまぎわらしいため校名を変更することになった。県教委が12月県議会までに新しい校名を決める。

新設の県立商校はマンモス化した日南高校商業科を分離独立させるもの。すでに敷地造成を終わり、近く鉄筋3階建ての校舎建築にかかる。募集定員は現在のまま1学年200人で増員はしないなど既存の私立商校への影響も考慮しているが、校名は日南商業高校に内定していた。

これに対し、広渡川をへだててある私立側から 生徒にとっては校名を取られた感じを受け、向学心に影響する 生徒募集が一層困難になり、学校経営に支障をきたす、などの点から校名変更を県教委へ陳情していた。県でも私立振興の立場から了承し、市教育委員長で郷土史家の飯田達夫さん、地元の鈴木善明さん(県社会教育委員)に校名の選考を頼んでいる。 県内の高校名は地名を取ったものが多いので、新設高校は歴史的な意義を含めた高校にするという点から二人は検討中。今のところ日本の南にある学校として「嶺南」、旧飫肥藩の学問所からとって「振徳」、東から太陽が上がるという意味から「東光」の三案がある。しかし、新設校が市民の世論の盛り上がりから出来る高校だけに、一般から公募しては、との声も強い。

「開校当時の思い出」

(初代校長)

筒井憲二

日南振徳商業高等学校がめでたく創立10周年を迎えられ、盛大な式典が挙行されますことを心からおよこび申し上げます。

十年一昔と申しますが月日のたつのは本当に早いものです。私が県教育委員会から日南振徳商業高校の開設準備を仰せつかったのは、昭和45年2月1日のことでした。それからは事務長の酒井先生といっしょに日南高校の校長室の片隅をお借りして、4月10日の入学式に間にあうよう諸準備を進めて参りました。

まず現地に行って驚いたことは、今まで山があったところがきれいに切り開かれ、管理棟の中央から西側半分(現在保健室、進路指導室となっているところ)と第2棟の普通教室の建物が建設中で、校門もなく東光寺から学校までの登校道路も未舗装の状態でした。

4月1日付で14名の先生方も発令され、また芸術科の3名の非常勤の先生方もきまって、4月10日の第1回入学式を迎えることになりました。当時は通学バスも運行されてないため当日は飢肥駅前と日南駅前から学校まで宮交の臨時バスを出していただいたのですが、小雨模様の天気で玄関付近は工事関係のトラックのため泥んこの状態になっており、晴着姿のお母さん方には大変お気の毒な有様でした。式は第2棟3階の大教室で行いましたが、生徒諸君は椅子がなく立ったままでしたので、むし暑さとペンキのにおいのため気分が悪くなった人が続出したのを覚えております。

ともかくこのような形で日南振徳商業高校が誕生したのですが、私としては校名の振徳に名前負けしない立派な学校を築き上げたいとそればかり考えていました。

あれから10年たった現在、校舎も立派に整備され部活動でのめざましい活躍ぶりを耳にするたびに心の底からの喜びを味わっております。

これからもますます活躍され、日南振徳の名を天下に轟かしていただくよう念じております。

「さらによき伝統を」

生徒会長

山口正昭

この度、宮崎県立日南振徳商業高等学校が創立10周年を迎えるにあたり、私は全校生徒を代表いたしまして一言ごあいさつをいたします。

本校の10周年の歴史を振り返ってみますと、昭和45年県立日南高等学校商業科から独立して初声をあげて参りました。学校の科目は商業科だけ4クラスでした。現在におきましては商業科、営業科、情報処理科の3学科が存置され、総合商業高校として年々、歳々、発展の一途をたどっております。

現在の校庭、校舎、諸施設、設備には恩師、そして諸先輩方の汗と涙がしみついていと聞いております。そして、母校発展のため苦闘と闘われたその汗と涙が「振徳魂」であると思います。諸先生方や諸先輩方の話を聞くたびに、私たちは恩師や諸先輩方のご期待にこたえなければならないと思います。私たち在校生は、過去10年間先輩の方々が積み重ねられてきた伝統を守り続けることをお約束します。

そして、校是の示すように、健康、誠実、友情、情熱の4つを肝に銘じひたすら学業、スポーツに励み卒業後は立派な社会の一員となり、社会の中堅人物として頑張っていく覚悟でおります。

これから将来に向かって、日南振徳商業高等学校の歴史をつくる生徒のひとりとして「振徳魂」を忘れず、不屈の精神で明るい学園づくりに努めていきたいと思っております。ご父兄、諸先輩、諸先生方なお一層の関心をもって私たちを見守ってください。

私たちはこの感激を肝に命じ、心身の鍛錬に励み学問の道を邁進し、より一層母校を発展させ輝やかなしい伝統をさらに築くことをお誓いいたします。